

# 2007. 4

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

Vol.23

# ひ お ま

## 主な記事

市の予算	2
税制改正・市税納期のお知らせ	5
ごみ分別について考えてみましょう	6
まちの話題	8
市民の広場	18



# 平成19年度 市の予算

一般会計 233億1,350万円  
(前年度比△3.4%)

特別会計 207億3,273万1千円  
(前年度比 35%)

市の人口 (単位：人)

H17.4.1現在	H18.4.1現在	H19.4.1現在
53,048	52,668	52,206

市の人口動態 (年度別) (単位：人)

	H17年度	H18年度
出生	367	367
死亡	664	685
転入	2,310	2,334
転出	2,393	2,478
増減	△380	△462

表① 市の人口、人口動態 (住民基本台帳)

平成十九年度予算が三月議会定例会で決まりました。一般会計は前年度より約八億円少ない二百三十三億千三百五十万円となりました。

少子高齢化が進む現代。市としてもこの問題は深刻で、人口は年々減少の一途をたどっています。表①の年度別人口動態をみてみると、平成十八年度で出生が三百六十七人、死亡が六百八十五人、転入が二千三百三十四人、転出が二千四百七十八人と、平成十七年度に比べて、特に死亡者数、転出者数が多くなっています。

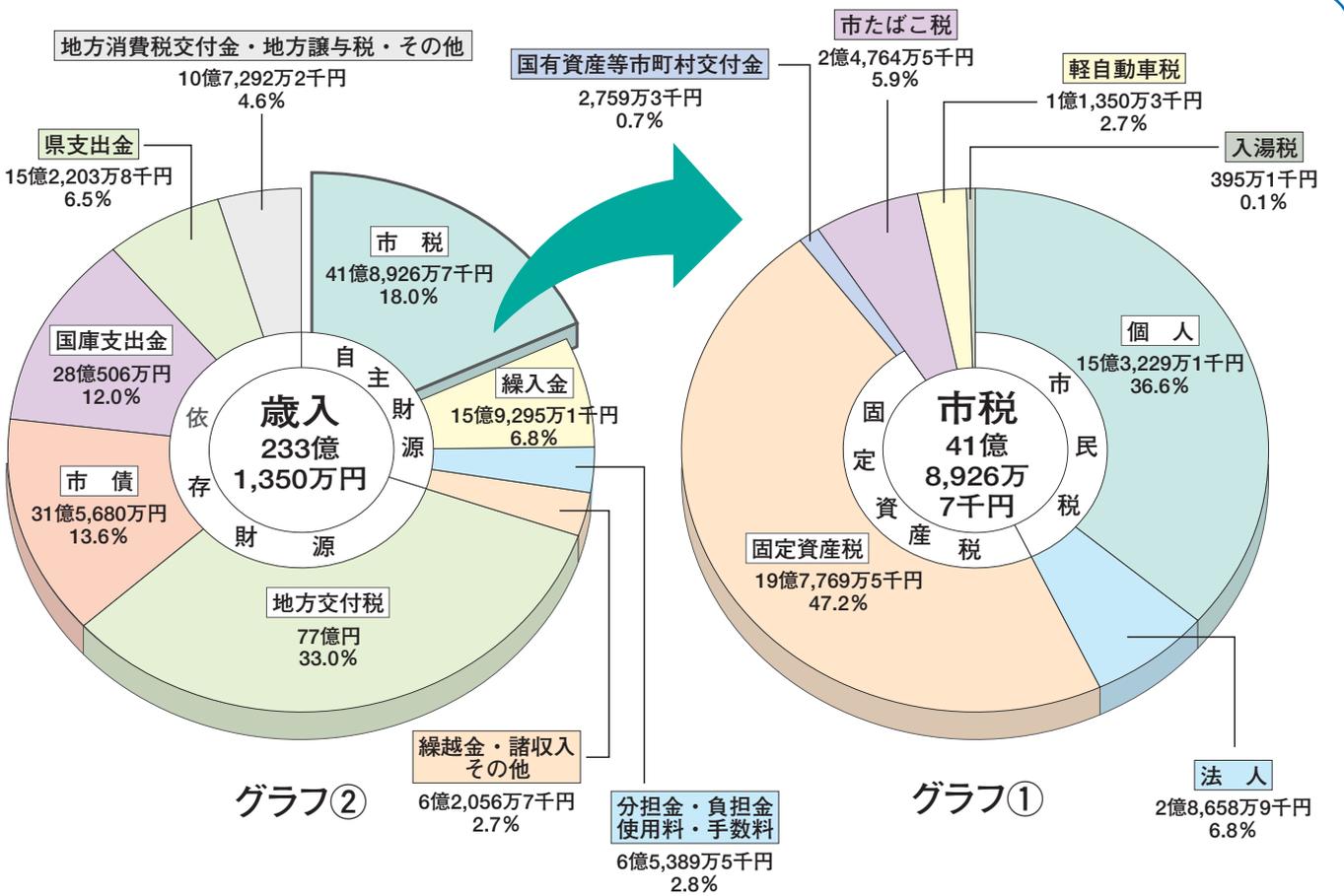
市ではこの現状を踏まえ、第一次総合計画を基本に市の一体感の醸成と行財政改革をより一層推進しながら、合併効果を実感できるまちづくりを進めるための予算を編成。今回はその予算の概要と特徴をお知らせします。

## 自主財源三割 依存財源七割 市税は全体の18%

### 歳入

下のグラフ②は市に入ってくるお金である「歳入」です。国や県から交付されるお金が少なくなったとはいえ、歳入の大部分は国や県などに頼るお金で依存財源(六九・七%)と呼ばれるものです。そのトップが、市が一定水準の行政サービスを保つために交付される「地方交付税」で全体の三三・〇%を占めています。次に多いのが、大きな事業をするときに財源の不足分を長期で借り入れる「市債」です。合併特例債をはじめ、事業の緊急度や効果を十分に考慮し有利なものを選び、前年度より一三・三%の減となっています。

一方、市が自ら賄えるお金で、自主財



## 当初予算の主なもの

総務費	21億5,754万7千円	労働費	1,552万2千円
○電算システム管理・運用及び地域情報化		○シルバー人材センター育成事業	
○コミュニティバス運行		土木費	40億290万8千円
○地籍図数値化事業		○地方道路整備臨時交付金事業	
○国際交流員招致事業		○道整備交付金事業	
民生費	47億3,962万9千円	○過疎対策事業	
○延長保育促進事業		○土地区画整理事業	
○生活保護費支給		○公営住宅整備事業	
○「食」の自立支援事業【配食サービス】		消防費	7億6,302万1千円
衛生費	29億7,128万3千円	○防火水槽整備事業	
○疾病予防事業		○消防・救急体制整備事業	
○子育て支援事業		教育費	27億7,457万円
○浄化槽設置整備事業		○中学校校舎改築事業	
農林水産業費	14億9,977万3千円	○小中学校施設整備事業	
○物産館増築整備事業		○小中学校情報教育整備事業	
○中山間地域等直接支払い交付金事業		○外国青年招致事業	
○新規就農・後継者育成事業		○学習支援アシスタント派遣事業	
商工費	1億4,976万円	○教育相談員配置事業	
○商工業振興対策事業		○地区公民館の整備	
○観光振興対策事業			
○薩摩焼パブリック伝統美展開催事業			

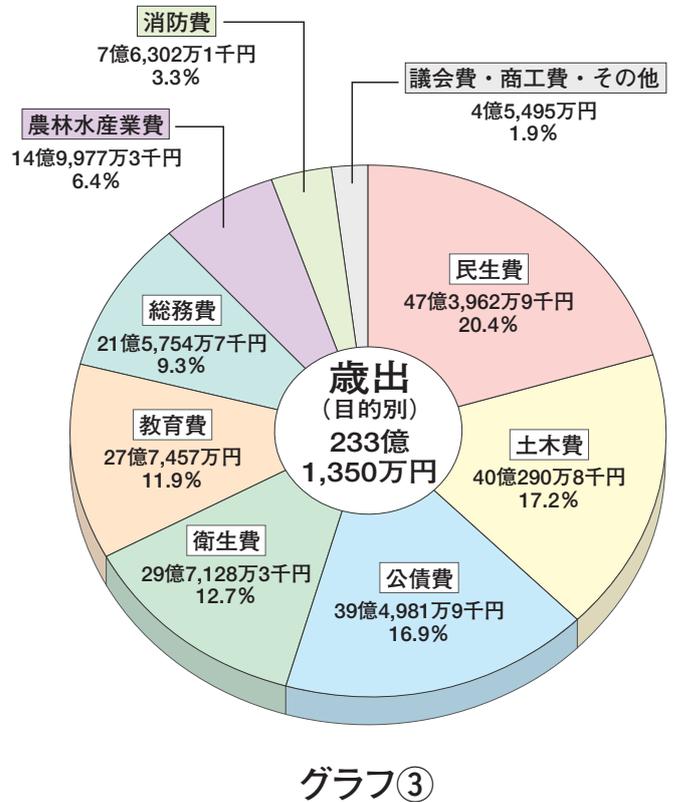
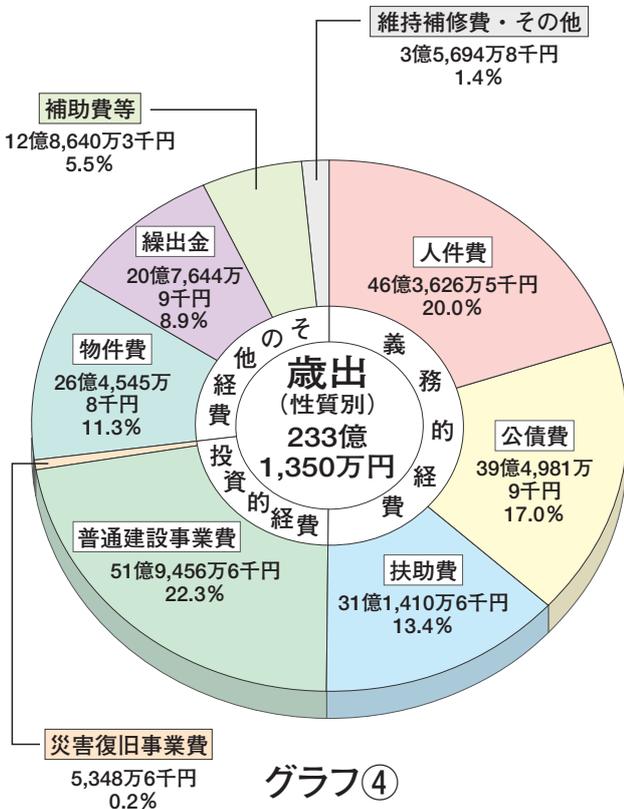
源(三〇・三%)と呼ばれるもののうち、最も多いのが、皆さんから納めていただく「市税」で前年度より一五・九%増の四十一億八千九百二十六万七千円(二八・〇%)を見込んでいます。次に多いのが、各基金からの「繰入金」で全体の六・八%を占めています。

**歳出(目的別)**  
次に、使われるお金である歳出を「目的別」のグラフ③から見てみます。「民生費」がトップで四十七億三千九百六十二万九千円と全体の二〇・四%を占めています。これは、福祉や保健、医療などに関する経費で、子どもから高齢者まで安心して暮らせる福祉のまちづくりに活用されます。次に多いのが道路整備や住宅建設整備、公園整備などに使わ

れる「土木費」で全体の一七・二%です。

**歳出(性質別)**  
さらに歳出を「性質別」のグラフ④から見てみます。「普通建設事業費」がトップで五十一億九千四百五十六万六千円と全体の二二・三%を占めています。これは、道路の整備や学校の整備などに関する経費で、市民生活に密接に関連した社会基盤の整備です。次に多いのが「人件費」で全体の二〇・〇%となっています。

「人件費」「公債費」「扶助費」の義務的経費は全体の五〇・四%、「普通建設事業費」「災害復旧事業費」の投資的経費は二二・五%、「物件費」「繰入金」などのその他の経費は二七・一%となっています。



市民一人当たり  
約八万円を負担  
市民一人に  
約四十四万七千円を支出

今年度予算を四月一日現在の住民基本台帳人口(五万二千二百六人)で、市民一人当たりに換算してみます。

歳入のうち「市税」を市民一人当たりで換算すると、八万二千四百四十四円負担していたこととなります。内訳は、全体の四七・九%を占める「固定資産税」がトップで三万八千四百一十一円、以下「市民税」の三万四千八百四十円、「市たばこ

税」の四千七百四十四円となっています。次に歳出をみてみます。目的別歳出で市民一人当たりに使われるお金は、総額で四十四万六千五百六十七円となります。最も多いのが前述したように「民生費」で九万七百八十七円、次いで「土木費」の七万六千六百七十五円、そして「公債費」の七万五千六百五十八円の順となっています。

皆さんから納めていただく税金と、事業などに使われるお金では一人当たり三十六万六千三百二十三円の差があります。この不足額の大部分が「地方交付税」や国や県からの支出金などから賄われることとなります。

市民1人当たりの支出額(目的別) 総額 446,567円	
民生費  90,787円	土木費  76,675円
公債費  75,658円	衛生費  56,915円
教育費  53,147円	総務費  41,328円
農林水産業費  28,728円	消防費  14,616円

市民1人当たりの市税負担額 総額 80,244円	
固定資産税  38,411円	
市民税  34,840円	市たばこ税  4,744円
軽自動車税  2,174円	入湯税  75円

特別会計

特別会計予算

会計区分	予算額	前年度比
国民健康保険	66億9,410万3千円	16.4%
老人保健医療	84億8,316万4千円	△3.0%
特別養護老人ホーム事業	2億8,618万円	△7.4%
公共下水道事業	5億1,280万8千円	△3.7%
農業集落排水事業	4,405万2千円	△1.3%
国民宿舎事業	2億7,051万4千円	△5.5%
国民保養センターおよび老人休養ホーム事業(指定管理者制度導入)	200万円	△98.8%
温泉給湯事業	524万7千円	△7.4%
公衆浴場事業(指定管理者制度導入)	118万5千円	△88.7%
飲料水供給施設	50万2千円	△26.4%
住宅新築資金等貸付事業	500万9千円	△45.3%
介護保険	44億2,796万7千円	6.3%
小計	207億3,273万1千円	3.5%

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、その収支を明確にするため一般会計とは切り離して経理するもので、日置市には十二の特別会計があります。

公営企業会計



公営企業会計とは、地方公共団体が企業として経営する事業(上下水道・電気・ガス・病院・観光施設等)を行う場合に、その性質からその公営企業の経営に伴う受益の程度に応じた料金(使用料)で賄うため、その収支を明確にすることから一般会計とは切り離して経理するもので、日置市には病院事業と水道事業の二つの公営企業会計があります。

公営企業会計(収益的収入および支出)

会計区分	予算額	前年度比
病院事業	3億4,270万円	△4.4%
水道事業	7億4,074万1千円	△3.0%

## 平成19年からあなたの住民税が変わります

平成十九年から、地方公共団体（県・市）が自主的に財源確保を行い、住民にとって真に必要なサービスを自らの責任で効率的に行えるよう国税（所得税）から地方税（住民税）へ税金が移し変えられます。（税源移譲）この税源移譲によって、ほとんどの方は、所得税が平成十九年一月から減り、住民税は平成

### 住民税の税率

現 行			改正後（平成19年度分の住民税から）		
課税所得	標準税率		課税所得	標準税率	
	市民税	県民税		市民税	県民税
200万円以下の金額	3%	2%	一 律	6%	4%
700万円以下の金額	8%				
700万円超の金額	10%	3%		合わせて10%	

### 所得税の税率

現 行		改正後（平成19年1月分の所得税から）	
課税所得	税率	課税所得	税率
330万円以下の金額	10%	195万円以下の金額	5%
900万円以下の金額	20%	330万円以下の金額	10%
1,800万円以下の金額	30%	695万円以下の金額	20%
1,800万円超の金額	37%	900万円以下の金額	23%
		1,800万円以下の金額	33%
		1,800万円超の金額	40%

十九年六月から増えることとなります。税金の移し替えなので、基本的には所得税と住民税を合わせた税負担が変わることはありませんが、定率減税の廃止や、皆さんの収入の増減など、別の要因により、実際の負担額は変わりますので、ご注意ください。

## 平成19年度

# 市税納期のお知らせ

市税の納付は、便利で確実な口座振替を利用しましょう！  
手続は、あなたの預貯金口座のある金融機関へお申込みください。

#### 取扱金融機関

鹿児島銀行 南日本銀行 鹿児島信用金庫 さつま日置農協 鹿児島相互信用金庫 鹿児島県信用漁協連合会江口支店 郵便局

#### 必要なもの

- 預金通帳
- 印鑑（預金通帳使用のもの）
- 納税義務者指名
- 振替える税目（税金の種類）

#### 注意

- 毎月二十五日が口座振替日。（振替日が、土・日・祝祭日に重なった場合、翌平日が振替日となります）
- 毎月二十四日までに貯金残高が不足していないか、確認をお願いします。
- 振替の口座を解約したり、変更したりする場合、必ず申込みの金融機関で解約届もしくは変更届を行ってください。

### 平成19年度市税納期一覧表

月	区分	税 目	期 別	納 期 限
5月		軽自動車税	年分	5月15日～5月31日
		固定資産税	1期	
6月		市県民税	1期	6月15日～7月2日
		国民健康保険税		
7月		固定資産税	2期	7月15日～7月31日
		国民健康保険税		
8月		市県民税	2期	8月15日～8月31日
9月		国民健康保険税	3期	9月15日～10月1日
10月		市県民税	3期	10月15日～10月31日
11月		国民健康保険税	4期	11月15日～11月30日
12月		固定資産税	3期	12月10日～12月25日
		国民健康保険税	5期	
1月		市県民税	4期	1月15日～1月31日
2月		固定資産税	4期	2月10日～2月29日
		国民健康保険税	6期	

【お問い合わせ先】

本庁税務課 ☎ 273-2111  
 東市来支所地域振興課 ☎ 274-2111  
 日吉支所地域振興課 ☎ 292-2111  
 吹上支所地域振興課 ☎ 296-2111

# ごみ

## 分別について

### 考えてみましょう

#### コンテナ収集・袋収集

#### どちらがいいのか



コンテナ収集  
(写真はイメージ)

#### コンテナ収集の流れ

コンテナ・ネットを、業者が自治会の収集場所に前日配布する。

早朝、指導員・補助員が機材を並べて準備する。

各家庭からごみを持ち寄り、指導員・補助員の前で品目ごとにコンテナ・ネットに分別して入れる。

終了後、その日のうちに業者が回収する。

資源ごみの収集方式については、平成十八年三月までにコンテナ収集へ統一する予定でしたが、経費の問題やコンテナ収集に対するさまざまな意見も寄せられたことから、さらに検討していくことを昨年の広報ひおき三月号でお知らせしました。

コンテナ収集は現在、伊集院地域が行っており、東市来・日吉・吹上の三地域では袋収集を行っています。合併後もまもなく二年が過ぎようとしており、このまま収集方式が異なることには問題があります。

ごみは皆さんの生活に密着した問題であり、環境保全や財政状況、自治会での取り組み方など、総合的に判断していかなければなりません。どの収集方法が良いのか、皆さんと一緒に考えてみましょう。

#### これまでの取り組み

コンテナ収集は、平成十五年四月から始まった「その他プラスチック」の分別収集開始に伴い、旧日置地区塵芥処理組合の加盟六町の中で、旧伊集院町が先駆けて始めたもの。実施した理由は、「袋収集では分別が徹底されない」と判断したため、当時、県内の他の市や町でもコンテナ収集は行われていました。

合併後、まずは旧伊集院町が行ったように三地域でそれぞれモデルとなる自治会を選定し、およそ半年間の試行を実施。同時に、一斉実施へ向け具体的な収集場所の選定を行いました。「場所の確保が困難」、「指導員として立つ人が限られている」、「高齢者が多いため、袋収集の

ままではだめなのか」といった意見が寄せられました。

収集場所の選定後、経費を積算。結果、全市コンテナ収集の場合と全市袋収集の場合とは、コンテナ収集の方が総体の経費でおよそ二千万円高くなりました。こうしたことから、このままコンテナ収集を実施することは難しいと判断し、十八年度中の一斉実施については見送ることとなりました。

その後市では、袋収集の分別状況を把握していただく必要があると考え、昨年八月に袋収集を行っている三地域の自治会長などを対象に、リサイクルセンターでの見学会と意見交換を実施。袋収集では、分別が個人の判断に委ねられるため、誤った分別がなされる可能性が高くな



## 袋収集の流れ

各家庭で分別し、それぞれ指定の袋に入れる。

指定された収集場所にごみを持ち込む。

その日のうちに業者が回収するが、分別が守られていない袋は回収しない。

・資源ごみ袋を購入しなければならぬ。(大25円、小15円)。

・ルール違反のごみが集積所に取り残されるなど、維持管理が大変である。

・リサイクルセンター職員による手選別の必要がある。

・雨天時の古紙収集の問題。

### 袋収集の利点

・可燃ごみと同様、近くの集積所に出せる。

・共同作業が不要となり、ごみを出す時間にさほど拘束されない。

・伊集院地域以外の三地域は、これまでどおりの収集形態で抵抗がない。

## 分別にも差がある

コンテナ収集と袋収集では、分別品目数にも差があります。

### コンテナ収集

①カン類②生きビン(リサイクル可能なビン)③その他ビン④新聞紙・チラシ⑤紙パック⑥ダンボール⑦本・雑誌⑧その他の紙⑨ペットボトル⑩その他プラスチック⑪燃やせないごみ⑫有害ごみ

### 袋収集

①カン類②ビン類③紙パック(古

紙類)④ペットボトル⑤その他プラスチック⑥燃やせないごみ⑦有害ごみ(一部は指定場所にある回収ボックスへ)

環境保全や資源を有効活用する上でも、徹底した分別を行うことは必要不可欠です。ただ、分別をすればするほど、処理にかかる費用が多くなるのも事実です。日置市におけるごみの総排出量は年々増加傾向にあり、資源化できるごみの量は逆に減少傾向にあります。

## 検討委員会を設置

市では、収集方式の統一に向けて「ごみ分別検討委員会」を設置しています。委員は、各地域の自治会長会の代表、地域女性連絡協議会の代表、PTA母親委員の代表、高齢者クラブの代表で構成。総合的な視野に立ち、収集方式についてさまざまな角度からの検討を続けています。

コンテナ収集、袋収集のいずれの方式をとるにせよ、ごみを出すのは皆さんです。環境にやさしいまちづくりと同時に、暮らしやすいまちづくりも必要です。ごみのない日置市にしたいためにも、一人ひとりがごみについて真剣に考えていただきたいと思います。

## 問題点と利点

コンテナ収集と袋収集とでは

ります。参加者も、「その他プラスチック」の分別が徹底できていないことを認識されました。意見交換会では「袋収集は続けながら、説明会を開いて分別を徹底してほしい」といった意見が多かった一方、モデルを実施した自治会からは「いろいろな問題はあったが、自治会員の分別に対する認識は確実に高まった」という意見も出されました。

### コンテナ収集の問題点

それぞれ問題点、利点があります。まとめると次のとおりです。

- ・分別を徹底させるために必要な指導員・補助員の確保が困難である。
- ・収集場所の選定が難しく、また収集場所が限定される(高齢者等への対応)。
- ・荒天時の対応や、早朝実施などの制限がある。
- ・袋収集に比べ、ごみ処理経費が総体で高くなる。
- ・プライバシー上の問題がある。

### コンテナ収集の利点

- ・市民の分別意識がより高まり、資源循環型社会の構築につながる。
- ・指導員・補助員が立ち会ったため、異物混入が防げる。
- ・共同作業により、自治意識が高まる。

### 袋収集の問題点

- ・分別が個人の判断に委ねられるため、コンテナ収集に比べて分別が劣る。

まちの話題は今月号からジャンルごとに編集してお届けします。

### 希望を胸に、13人が門出

平成19年市自衛隊入隊者壮行式

三月六日、市中央公民館で市自衛隊入隊者壮行式が行われました。

式には、入隊者をはじめ、市や自衛隊関係者、市内自衛隊父兄会の方々が出席。宮路市長は「それぞれの入校、入隊先で友人をたくさん作り、共に頑張ってください。五月の連休に立派な姿で帰省してくれることを楽しみにしています」と激励しました。入隊者を代表して、有村

和貴さん(吹上)が「激励の言葉を肝に銘じ、それぞれの入校、入隊先で一生懸命頑張ります」とお礼の言葉を述べました。



▲お礼の言葉を述べる有村和貴さん

### 先人のご縁を未来に

大垣市上石津産業文化交流

関ヶ原合戦の敵中突破で、島津義弘公を守るべく奮戦し、果てた島津豊久公の縁で交流を深めている岐阜県大垣市上石津を永吉南郷会員が訪れ、二月二十八日から三日間、史跡の研修や関係団体との交流を深めました。上石津に着いた一行は、早速

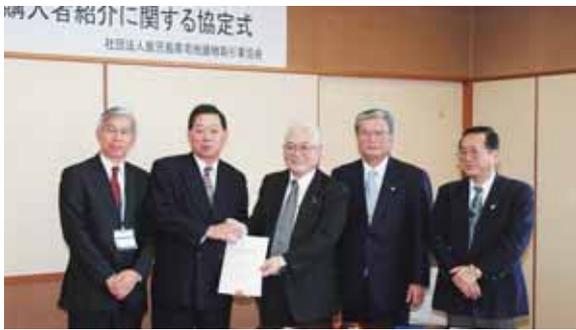


豊久公の墓前へ。初めて見る五輪塔に線香を手向け、御霊にそれぞれの想いを語りかけました。

公の菩提寺瑠璃光寺では、代々受け継がれている位牌を拝み、合戦場では、西軍の将、石田三成が陣をしいた笹尾山から往時を偲びました。また、義弘公を山中案内した近江国的小林新六郎家を訪れ、仏前にお礼を述べました。

今後の交流について、島津関係市町村友好文化交流実行委員会や島津会関係者らと懇談。「歴史を大切にし、未来に活かしていこう」と語り合い、今後の永い交流と歴史を通じた地域づくりを誓い合いました。

### 分譲地購入者紹介に関する協定式



▲握手を交わす宮路市長(左)と竹下協会長(右)

三月一日、県市町村土地開発公社日置支社と社団法人県宅地建物取引業協会による「分譲地購入者紹介に関する協定式」が行われ、宮路市長や竹下豪同協会長らが出席し、協定を結びました。

この協定は、日置支社が分譲している市内七カ所の住宅団地および清藤工業団地を含む分譲地を、四月から民間の不動産業者を介して購入希望者に紹介するというもの。この協定により、今後の分譲地の販売促進が期待されます。

### 異国の文化にふれ、社会に貢献

平成18年度第三次青年海外協力隊

三月十九日、平成十八年度第三次青年海外協力隊として派遣される坂元英樹さん(東市来)と田淵久美子さん(東市来)が湯田平助役を表敬訪問しました。

坂元さんはスリランカのケゴール技術訓練短期大学に配属され、同国で急速に普及している自動車などの整備技術を指導。田淵さんはニカラグア共和国の修道院オガール ラウラ ビクニャに配属され、院内施設の生徒に手工芸などを指導する予定。

坂元さんと田淵さんは「ボラ



▲出発を報告する坂元さん(右)と田淵さん(左)

ンティアとして少しでも任国に貢献し、また現地の人や文化とふれあうことで自分自身も成長していきたい」と話していました。

### バス停に待合椅子を設置

社会福祉協議会

市社会福祉協議会日吉支所が、地域内のバス停に設置してある椅子を修理、交換(七カ所)、設置(三カ所)しました。

これは、かねてからバス停の椅子の危険性について住民から要望があり、同協議会が幹線道路沿いのバス停の椅子を調査。住民からの福祉寄付金によって修理、設置されたものです。

地域住民の気持ちのこもった贈り物を大切に利用しましょう。



## いきがいのある地域に

### 八幡せつべとべ会ふれあいいきいきサロン

三月十七日、八幡自治会（日吉）で八幡せつべとべ会ふれあいいきいきサロンを立ち上げました。

この日は、子どもたちへの読み聞かせや、大豆を使ったお箸の持ち方や使い方の指導もありました。また、外では子どもか



ら高齢者までが一緒になってランドゴルフを楽しみました。初めて体験する子も多く、最初のうちは高齢者の方々に手取り足取り指導してもらっていました。すぐに上手になり、中にはホールインワンを二回も出す子どももいて、地域のおじいちゃん、おばあちゃんと大いに盛り上がりました。

昼食は、八幡神社の御神田で採れた御神米で地域のお母さん方が作ったカレーライス。参加者は、御神田の恵みに感謝しながら、おいしそうに食べていました。

## 大きな木炭を焼いたよ

### 日当川農産窯

日当川農産窯の炭焼窯で、大木の木炭が焼き上がりました。

今回焼かれた炭は、日当川農産窯の炭焼窯では一番大きいもので、直径五十五センチ、高さ四十三センチ、幹周り百四十八センチあります。

木炭は、燃料としての利用はもちろん、脱臭効果や調湿効果もあるため、現在では形を楽しむ「炭アート」インテリアとしての需要も高まっています。



## 下駄会パトロール隊出発

### 青パト出発式

地域住民の安全を、自らの手で守ろうと、青色防犯パトロール隊が発足し、その出発式が三月九日、吹上交番でありました。

「飲酒運転できないよう下駄で飲み会をしよう」と集まった「下駄会」の申請が認可されたもので、「下駄会パトロール隊」と名付けられました。

出発式には、同会シンボルの下駄履きウミガメジャケットを羽織った会員や日置署員らが出席。「地域防犯のために末永い活動を」と同会の丸山会長がいさづ。二台のパトロール車が紹介され、早速青い回転灯を点灯して、初パトロールへと出発しました。

防犯には、日ごろから意識を高めていることが大切だといわれています。地域と青パト、そして警察との協働が、安心安全な吹上地域をつくりまします。



## 災害に備え、まとまり見せる

### 福祉救援ボランティア訓練

二月二十三日、日吉ふれあいセンターで、市社会福祉協議会主催の福祉救援ボランティア訓練が行われました。

模擬体験では、日吉地域が津波に襲われ、住民が被災したとの想定で、日吉ふれあいセンターに「災害ボランティアセンター」を設置。市内外から多数のボランティアが集まり、受付や避難所等へのボランティア派遣などが行われました。

また、当日はハイゼックス（非常炊き出し用ポリ袋）を利用した炊き出し訓練が行われ、全員が協力して参加。昼食時には試食も行われました。

今回は東市来・吹上地域も含め、総勢百五十人が参加。県社会福祉協議会ボランティアセンターの辻さんは「県の総合防災訓練にも見劣りしない訓練ができました。実際に災害が起きれば、予想以上のボランティアが集まりますので、訓練をしないと混乱を招きます。年に一回でも訓練をしておくことが大切です」と話していました。



▲訓練の大切さを訴える県社会福祉協議会の辻さん



▲ハイゼックスを利用した炊き出し訓練

# 郷土の偉人「小松帯刀公」を知ろう

日吉地域婦人連絡協議会学習会

三月四日、日吉地域婦人会連絡協議会（諏訪免順子会長）主催による「小松帯刀公の業績を知る学習会」が吉利北区自治公民館で開催され、地域の子ども会など約百二十人が参加しました。

この学習会は同地区の市指定文化財「園林寺跡」に墓があり、地域に縁が深い小松帯刀公（一八三五〜一八七〇年）が、来年放送されるNHKの大河ドラマ「篤姫」で主要人物の一人（薩摩藩家老）として登場することから、郷土を盛り上げる絶好の機会として、地域住民が小松公の業績などの足跡をたどり、理解を深めようと実施されたものです。

当日、講師を務めたNPO法人かごしま探検の会・東川隆太郎さんが「家格の高い小松が尽力したからこそ、下級武士だった西郷隆盛や大久保利通が活躍できた」などと、小松公の業績や篤姫の生涯を解説。「ドラマを一過性のブームにするのではなく、日置の魅力として伝えていってほしい」と訴えました。公民館での学習のあと、参加者

は東シナ海を望む高台にある園林寺墓地に行き、小松帯刀の墓を見学しました。

学習会を計画した諏訪免順子会長は「地元にながらまだ知らないことも多い。今後、地元を訪ねてくる人への説明や案内が少しでもできるようなボランティアガイドのような組織をつくれれば」と話していました。

学習会の前日は、子ども会の保護者らが園林寺跡墓地周辺の草払いなどをしたり、大河ドラマ放映を支援する会を組織したりと、地元の機運も高まりつつあります。

小松公は篤姫と同じ年の生まれ。喜入領主の肝付兼善の三男として生まれ、吉利の領主だった小松家の養子となった。幕末を中心に薩長同盟や大政奉還の立役者として活躍したが、病気のため36歳で死亡した。「篤姫」では、「幻の宰相」と言われながら、これまで取り上げられることの少なかった小松公にも焦点が当てられるという。（学習会から）



▲東川さんの説明を熱心に聞く参加者（園林寺跡）



▲地域の子ども会など、たくさんの人が参加

# お田植え劇で、「五穀豊穡・無病息災」を祈願！

稲荷神社お田植え祭

三月三日、春の暖かい日差しの下、恒例の「お田植え祭」が、湯之元の稲荷神社（東市来）で行われ、境内には市内外から大勢の人が詰め掛けました。

この祭りは、二百年以上前から行われており、お田植え劇は、水田をかたどった土俵ぐらゐの広さの場所で、テチョ役（亭主）・カカ役（妻）・オンジョ役（父親）による田起こし・田植えや休憩の茶飲みの様子を鹿児島弁でおもしろおかしく即興で演出。境内は、和やかな雰囲気

の中、笑いの渦に包まれました。また、五つ太鼓・踊りなども披露され、今年一年の五穀豊穡と無病息災を祈りました。



# 牛の供養と、無病息災を祈願

復興馬頭観音祭り

馬頭観音祭りの日とされている三月十八日、吉利神社（日吉境内）で第一回馬頭観音祭りが行われました。

これは、昨年開催された吉利和牛生産グループの定例会の中で、会員から「昔ほどの集落の農家でも牛を飼っていた盛衰に祭りが行われていたが、現在では馬頭観音石碑の掃除や参拝などをすることがないのでは」との意見が出されて復活したもの。同グループ内の生産農家九戸は

牛の供養や無病息災を祈願するため、復興記念として和牛の形をした立派な馬頭観音像を作りました。当日は、吉利和牛生産グループの外屋敷久徳会長が「会員皆が元気で牛を飼い、年一回の馬頭観音祭りが末永く続くように」とあいさつしました。



## 春風と笑顔でウォーク

### 吹上温泉ウォーキング大会

吹上地域運動普及推進員協議会が主催する吹上温泉ウォーキング大会が三月十四日、吹上温泉広場を中心に行われました。

会員は健康づくりに地域資源を活用しようと、手づくりで準備。初の試みで、六十人程度を予想していたところ、霧島市などからも参加、百人を超える参加がありました。

参加者は、距離や趣向に合わせて、ゴルフ場や史跡巡り、窯元

見学など四コースから、好みのコースを選択。心地よい陽春の風を受けて、笑顔で歩きました。

吹上温泉組合は入浴半額券を提供し、大会を支援しました。昼食は同会の田原会長自ら腕を振るった焼きそば。

春の吹上温泉を満喫した様子で「ぜひ次回も」と参加者。地域づくりに大きな示唆を与える試みとなりました。



## 田の神微笑むもちひつぱり

### 小野自治会

小野自治会（吹上）にある奥神社の春祭り、「もちひつぱり」が三月二十一日、小野田の神像前で行われました。

このお祭りは、早朝から準備し神社に供えたもちを使って、五穀豊穣を祈願しながら引つ張り合う行事です。ちょうど周辺の田んぼでは、早期米の田植も始まっています。

もちは、およそ二〇センチの棒状で、この両端を口で引き合います。もちが伸びれば伸びるほど豊作といわれ、子どもが引くた

びに「歯を立つんな」「そら、引つ張らんか」と長老らがはやし立てました。負けると取り分が少なくなるとあって、にらみ合いながら、口で駆け引きする姿に、田の神も微笑んだように見えました。



## 願いを込めて「エンヤオー」

### 船こぎ祭り

上田尻一休が湖水であったころ、猿田彦命が海上安全の重責を果たしたという船木神社（吹上）の神話にちなんだ「船こぎ祭り」が三月二十日、同神社で行われました。

このお祭りは、宝殿に収蔵されている模型船を、氏子らが海に見立てた境内を航海させ、再び戻すというもので、全国的にも珍しいお祭り。

境内では、氏子ら二十人が宝殿を取り囲むように円陣を組み

ます。そして次々と出港する模型船を「エンヤオー、エンヤオー」という櫓拍子とともに、三回ずつ繰り返し、隣へと手渡ししていきます。これは御船渡しともいわれています。

海上の安全を祈るこのお祭りも、今では五穀豊穣のお祭りとして行われています。



## 笑いで祈る五穀豊穣

### たじまどん

一年の五穀豊穣を祈る田園劇「たじまどん」が三月十八日、大汝牟遅神社（吹上）境内で奉納されました。

田んぼに模した境内に先導役の農夫が登場。木鋤であぜをつくり水口を整えたところで、加勢人が加わり「どら、茶どん飲もかい」「ないも仕事しちよらんなを」と珍妙なやりとりが始まります。

いよいよ牛を呼び、土ならし。ところが鼻取人が引っぱっても、

牛がいうことを聞きません。見物客が竹筒でヤツデの実を吹きかけ、げきをとばすと、突然、見物客はヤツデで応戦、無病息災の砂をかぶっていました。

祭りが終わると、健康にご利益のあるトッコ（小さなおにぎり）が配られました。

今年初めて、宮内女性部の「田の神音頭」も奉納され、たじまどんに花を添えました。



▲▼参加者全員で校歌斉唱



▲小原優花さん



## 122年の歴史に幕 校舎は4月から地区公民館として活用

### 皆田小閉校式

三月二十五日、市立皆田小学校（東市来）の閉校式が同校体育館で行われ、一年生から五年生の在校生十八人と保護者、教職員、同校卒業生、地域住民など約四百人が出席しました。

平成十八年度をもって閉校となった皆田小学校は、明治十七（一八八四）年十二月に日置郡第八学区諏訪小学校霧島分校として創立以来、百二十二年にわたる地域の教育分野の中心的存在として輝かしい歴史と伝統を築き、巣立っていった卒業生も約二千三百人を数えます。

全国的な少子化の流れはこの皆田校区も同様で、児童数は昭和三十三年の二百二十五人をピークに年々減少。平成十七年度には創立以来始めてとなる新生生なしという非常事態となりました。また、数年後には児童数が十人を切ることも予想され、子どもたちの将来を危惧するPTA会員や未就学児の保護者らの地元の要望を受けて、平成十八年九月議会において、隣の湯田小学校への統合が決定されました。

閉校式は、西利廣校長の式辞で幕を開け、宮路市長、宇田市議会議長、田代教育長のあいさつのあと、児童代表の小原優花さん（六年）が「小さい学校だったけど、全員で協力しながらいろんな行事に取り組みました。楽しい思い出をくれた皆田小を忘れず、これからの未来を歩んでいきたいです」と六年間の思い出を振り返りながら、抱負を述べました。

続いて、PTAを代表して大庭哲郎会長が、皆田小最後の卒業生五人を送り出した卒業式と母校への愛着、伝統の重み、子どもへの思いなどで揺れ動いた閉校への葛藤など、断腸の思いでの決断を報告。「今回の統合をいい機会として地区の今後に力を尽くしましょう」と保護者らに呼びかけました。

最後に、出席者全員で校歌を斉唱。それぞれに思いをはせながら歌う卒業生の目には数々の思い出があふれ、「新生『皆田』の未来に向かって進もう」と誓いあい、百二十二年の歴史に幕を下ろしました。

昭和三十五（一九六〇）年卒の富永キヌ子さん（東市来町長里）は、「今年還暦を迎え、同窓生と母校の運動会に参加できるのを楽しみにしていただけに、

閉校は残念。久しぶりの校歌で昔を思い出し涙が出ました」と感極まった様子でした。

式典終了後には、閉校記念碑の除幕式や閉校記念事業実行委員会主催の懇親会が行われ、児童によるアトラクションや地元「よかにせ倶楽部」が閉校記念に作った「こだわり焼酎『皆田』」も振舞われ、母校の閉校を名残惜しんでいました。



▲閉校記念碑の除幕式



▲記念碑には「未来への躍進」の文字



## 新生「皆田」の旅立ちを記念 こだわり焼酎「皆田」完成

三月二十四日、地元の若者らでつくる「皆田よかにせ倶楽部」（大庭健吾会長以下会員二十人）が作った「こだわり焼酎『皆田』」の完成披露会が行われ、関係者約四十人が出席しました。

この焼酎づくりは、会員の母校である皆田小学校閉校を機に、「何か記念になるものができないか」と話し合って決定。昨年からの約一年かけて、さつまいもの苗の植付けから収穫、仕込みまでを全て自分たちで取り組み、隣市焼酎蔵の協力のもと、限定二千七本（一本七百二十ミリリットル）を製造しました。

## 卒業記念に、思い出いっぱい詰めて

### 日吉中学校卒業式

三月十三日、第三十五回日吉中学校卒業式が行われました。日吉中学校では、平成十二年から地域伝統産業の日置瓦を使った卒業記念を作成。クラスごとに作った記念瓦は日吉運動公園内の壁に設置されました。

また今年も、卒業記念のマイ焼酎を作ろうと、焼酎作り体験活動が行われました。原料となる米や芋の栽培から、小正醸造(株)の協力で仕込みからラベル貼りまでの工程を卒業生全員が力を合わせて行い、記念のマイ焼

酎を作ることができました。思い出がたくさんつまった卒業記念。今年の卒業生は五年後の成人式で運動公園内の記念瓦の前に集まり、マイ焼酎で乾杯することでしょう。



▲卒業記念のマイ焼酎

## 伊作和紙に思いを込めて

### 和田小学校卒業式

和田小学校六年児童五人が、自ら書いた「伊作和紙」の卒業証書を手へ三月二十二日、通い慣れた学び舎を巣立ちました。

伊作和紙は島津忠良(日新公)が貧困な武士の授産事業として振興を図ったのが起源と伝えられ、元禄初頭に本格的に取り組みられています。

児童らは、日吉地域にある「伊作和紙を復興する会」(種子田幸廣代表)で和紙づくりを体験し、「卒業証書も自分たちで」

と思い立ちました。

同会の指導を得ながら、学校周辺で原料のコウゾを収穫し、皮はぎや紙すきまで挑戦。一枚ごとに風合の違う証書紙をつくりあげました。

この証書に担任の川口教諭が慎重に文字を書き上げ、すべて手づくりの卒業証書が完成。

思いを込めた一枚だけの証書を、古川校長が心を込めて手渡しました。



## 文部科学大臣優秀教員表彰



▲田代教育長から伝達を受ける川添先生

伊作小学校(吹上)の川添正行先生が平成十八年度文部科学大臣優秀教員表彰を受け、三月二十日、田代宗夫教育長から表彰伝達がありました。

## 日ごろの親子読書を発表!

### 親子読書会交流会

二月十日、東市来文化交流センターで、親子読書会交流会が行われ、東市来地域の三つの親子読書会(子ども四十五人、大人三十七人)が参加しました。

活動発表では、鶴丸小の家族読書会が「大型絵本・大型紙芝居」の読み聞かせ、伊作田小の家族読書会が、ペープサート「たまごにいちばん」、湯田小の親子読書会が「手づくり絵本」の発表がありました。

また、伊集院地域妙円寺にある「なぞな文庫」の帯田和子先

生によるおはなし会や日置市立図書館長の丸山克介先生による講話も行われ、楽しいひとときを過ごしました。



## 薩摩焼の里「美山」の

### 文化財・史跡を散策!

### ふれあい史跡めぐり歩こう会

東市来地域内の文化財・史跡や自然に触れることにより、郷土に対する認識を深めようと、美山校区内で二月十一日、ふれあい史跡めぐり歩こう会が行われました。

これは、東市来地域子ども会育成会連絡協議会が開催したもので、市内の子ども会員や地域住民など約四百五十人が参加。平成十年に南九州西回り自動車道予定地で発見、移転された市

内二番目に古い「堂平窯跡」や市指定文化財の「五本松窯跡」、樟脳製造発祥地の「樟脳記念碑」などを見聞しました。

各史跡前では、案内役の小中学生が簡単に説明した後、文化財保護審議委員や社会教育担当者が、史跡等の歴史的な背景を説明。参加者は、小春日の下、薩摩焼の里「美山」を楽しそうに散策していました。

## チエスト小鶴ドーム杯 テニス大会

三月十八日、チエスト小鶴ドーム杯テニス大会がチエスト小鶴ドームとふれあいセンターの二会場で行われ、男子二十三ペア四十六人、女子十六ペア三十二人が熱戦を繰り広げました。大会は男子、女子ともに経験者の部と初心者の部で競われ、それぞれ予選リンクのあと決勝トーナメントが行われました。大会結果は次のとおりです。  
(敬称略)

### 男子経験者の部

優勝 永井・植田 (IG・南銀)

### 男子初心者部

優勝 遠矢・遠矢 (ST)

### 女子経験者の部

優勝 中村・松元 (妙円寺)

### 女子初心者部

優勝 田代・本村 (日曜)



## 特産品でプロ球団を激励

### 韓国ロッテジャイアンツ

二月十七日、日置市で春季キャンプを張る韓国プロ野球のロッテジャイアンツ球団へ、市と東市来町観光協会が地域特産品を贈り、選手を激励しました。

同球団は釜山に本拠地を置き、日本プロ野球千葉ロッテマリィンズと兄弟球団。当日はあいにくの雨模様、こけけドームで練習前の選手らに、湯田平助役と野崎会長が黒毛和牛とイチゴを贈呈しました。

イサンング球団長は「韓国と交流の深い日置市でキャンプでき

てうれしい。以前、当地でキャンプしたシーズンは良い成績を残せた。市民の歓迎と期待に沿うような結果を出して、また帰って来たい」と応えました。

韓国プロ野球は現在、一リーグ制の八チームで構成され、同球団の昨年の成績は第七位でした。

二月一日から一カ月間、東市の湯之元球場や伊集院球場で調整した同球団の活躍が期待されます。

## 優勝を誓いキャンプin湯之元

### 三菱重工広島・スポーツ専門学校野球部

三菱重工広島と履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校の硬式野球部が、三月に湯之元球場でキャンプを行いました。

三菱重工広島は都市対抗野球でも常連の中国地区を代表するチーム。履正社学園は、関西専門学校野球選手権大会ベスト4入りするなどどちらも強豪チーム。

暖かい気候の下、選手らは同球場で一週間ほどのキャンプを終え、優勝を目指してそれぞれの大会に臨みます。

湯之元球場はキャンプを行った球団が好成績を残す縁起の良い球場といわれ、両チームの活躍が期待されます。



それぞれに特産品の鹿兒島黒毛和牛とイチゴが贈られました。

## 全国大会へ 男女アベック出場おめでとう！

### 伊集院北中学校卓球部

第四十九回県下中学校新人卓球大会で、男女アベック優勝した伊集院北中学校卓球部（男子十二人、女子七人）が三月二十六日、宮路市長を表敬訪問しました。

レシーブで一試合一セットでも多く取り、良い成績が残せるように頑張ります」と力強く応えました。

同卓球部は三月二十八・二十九日に北海道千歳市で開催される第八回全国中学選抜卓球大会に出場。全国大会出場を報告を受けた宮路市長は「鹿兒島県代表として力を発揮し、伊集院北中ここにあり！という気持ちで頑張ってきてください」と激励。男女両キャプテンは「精一杯プ



## 栄冠めざし熱戦

### フレッシュリーグ九州選手権

第二十回フレッシュリーグ九州硬式少年野球連盟春季九州選手権大会が三月二十四日から二日間、吹上浜公園野球場などで開催されました。

大会には南、北九州支部の予選を勝ち抜いた小学部、中学部各八チームが出場、栄冠を目指して、白球を追いました。時折雨の落ちるグラウンドコ

ンデーションの中、熱戦を制したのは、小学部が福岡アストロズ、中学部が伊都BBC（いずれも福岡県）でした。

吹上での開催は、今年が四回目。選手、関係者の宿泊や弁当手配など、吹上町施設利用促進協会が、大会を側面から支えま

## 人車一体、難関に挑む

### M F J全日本トライアル選手権

日本モーターサイクルスポーツ協会公認の二〇〇七M F J全日本トライアル選手権が三月二十五日、錫山オフロードランドであり、鹿兒島県での全国大会が初めて開催されました。

大会には世界を転戦する国際A級スーパークラスライダーをはじめ七十七人がエントリー。岩や林、崖、沢などの難関に挑みました。

トライアル競技は、持ち時間内でのコース走破に、足つきなどの減点法で順位

を競います。選手の眼前に立ち渡る絶壁の崖や大岩を、バイクで乗り越えていかなければなりません。まさに人車一体の呼吸が勝負



を左右。失敗者続出の関門を攻略したライダーには、詰めかけた観衆から大きな拍手と歓声が沸き、平鹿倉の山々に響き渡りました。

## 史跡の下で健康づくり

### 天昌寺GGコースオープン

永吉島津氏の菩提寺で、島津豊久公をはじめ、代々の永吉領主の墓石が並ぶ天昌寺（吹上）。その周辺に整地された広場に、グラウンドゴルフ場の機能も加わり三月五日、打ち初め会が開かれました。

打ち初めには、同自治会や関係者およそ五十人が参加、ホールインワン大会で開場を祝いました。

同広場は墓石などの保護を含めて、永吉南郷会が管理していましたが「地域の歴史に触れながら健康づくりを進めたい」と、

地元天昌寺自治会からの申し出を快諾、その活用の幅が広がりました。「人が集えば、御先祖も喜ぶでしょう」と参加者のひとり話してくれました。





心もからだも健康になればみんな幸せ

## 「笑い」は人を健康にする 笑いの威力はすばらしい！

### 「笑い」は健康につながる

「笑う門には福来る」といわれるように、怒っているより笑っているほうがいいことがあります。最近の研究では「笑う」ことによって、がん細胞などの発生を抑えるNK（ナチュラルキラー）細胞が増えることが分かってきました。また、笑っている時には、自律神経がバランスよく働いている状態にあるので、バランスよく働いている＝健康的であるといえるでしょう。



### 笑いを生活の中に！

「笑い」といっても、クスクス笑いからガハハハと大笑いまで、その種類は様々ですが、その効果は気になるところ。意外なことに、「笑う」とNK細胞が増えるという実験では、作り笑いでもOKだそうです。つまり、心からの笑いでも、「笑う」という行為には、健康効果がありそうです。「面白いことがないから笑えない」なんて言わないで、まずは笑顔をつくる練習をしてみましょう。毎日笑う習慣をつければ、病気になるにくい若々しい生活を送れるのではないでしょうか。



### まだある! 「笑い」による効果

がん細胞などの発生を抑えたり、自律神経がバランスよく働く以外にも「笑い」による健康効果はありそうです。いくつか挙げてみましょう。

- 大笑いすれば腹筋や横隔膜が鍛えられ、お通じがよくなる。
- 楽しいことがあって笑えば、ストレス解消になり、その結果便秘や胃腸の痛みなどが、改善される。
- ストレスが改善されると、血圧も低下し、体調が楽になる。
- 仕事がかどる。「笑い」は人間関係を潤滑にし、イライラしている時よりも仕事の能率をアップさせる。
- よく笑うことで体の筋肉を使い、心地よい疲れによってよく眠れるようになる。

これ以外でも「笑い」による効果はありそうです。少なくとも「笑い」が健康をもたらすということは間違いのないでしょう。





このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。



**伊集院地域**

(出生児) (保護者) (自治会)

竹内 珠有 神悟 猪鹿倉  
向井 太翼 健太 徳重東  
奥田 来生 誠 朝日ヶ丘  
駒水 終斗 雄喜 妙円寺9区  
川島 秀斗 信二郎 朝日ヶ丘  
内野 航 武夫 向江町  
吉村 勇輝 勇一 郡上  
前田 耀平 真一朗 瀬戸内  
東 愛莉 磨清 郡上

**東市来地域**

(出生児) (保護者) (自治会)

新村 優依 帯宏 田代西  
原 由妃乃 英三郎 田之湯  
高橋 すみれ 直希 城之町上  
船倉 将人 法人 元湯

**日吉地域**

(出生児) (保護者) (自治会)

富ヶ原 光海 大二郎 日新  
立宅 真歩 広寿 熊野

**吹上地域**

(出生児) (保護者) (自治会)

増田 遥仁 英仁 北湯之元

**伊集院地域**

(故人) (享年) (自治会)

佐藤 幸男 寺脇  
徳満 ミネ 瀬戸内  
木場 ミツ子 大田下  
善福 シヅエ 上神殿  
福永 廣 四郎園  
榎園 ノヨ 飯牟礼中  
鈴木 豊子 中央通  
石場 スミ つつじヶ丘1区  
碓谷 定一 飯牟礼下  
今村 ミチ 野田  
益山 ハツ子 大田下  
小屋敷 ヨネ 中神殿  
塩入 ミヨ 大田中  
徳留 和輝 徳重東  
佐伯 タツエ 向江町  
加治屋 嘉三 朝日ヶ丘  
安樂 正人 駅前  
東 清秀 古城



原野 瑛太 信人 南湯之元

**東市来地域**

(故人) (享年) (自治会)

北之園 ハナ 秋光園  
重信 クサノ 尾木場  
船迫 文子 元湯  
領家 栄造 田代西  
立野 ノリ 高塚西  
貴島 清治 銚之原  
蒲牟田 美義 上野西  
前田 正直 江口  
東條 ヤス子 元湯

**日吉地域**

(故人) (享年) (自治会)

山口 チミ 神之川  
比良 藤雄 上野西  
脇田 繁 下養母  
徳永 律 田之湯  
松山 勉 下養母  
中村 義盛 城之町  
坂元 秀雄 古市

**吹上地域**

(故人) (享年) (自治会)

大橋 ヨシエ 中津  
小山田 昌春 新川原  
瀬野 榮一 南宮内  
米満 和代 南湯之元  
大園 進 下与倉  
今村 敏生 田之尻  
正留 勝藏 窪田  
徳永 カナ 川久保  
寺原 篤 野首  
池田 京子 東宮内  
宮本 治仁 入来浜  
福元 義治 西本町  
前野 辰男 入来  
石塚 テル 入来  
古川 喜則 梅里下  
山川 洋美 南湯之元  
本山 サキ 赤仁田

**消防団員を募集します!**

消防団は、わがまちを災害から守るという使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

しかしながら、その一方で消防団員数の減少や消防団員の高齢化の問題が生じてきており、その充実強化が最大の課題となっています。

あなたも自分のまち、みんなのまち、そして大切な家族を守るため、消防団活動に参加してみませんか?

若い方々はもとより、志のある方々の入団を心よりお待ち申し上げております。



お問い合わせ先

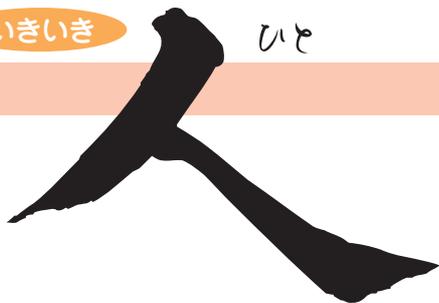
日置市消防本部 総務課 消防団係 ☎ 272 - 0119

**訂正とお詫び**

広報ひおき3月号の記事中に誤りがありました。

次のおり訂正してお詫びします。

P2「日置市生涯学習大会」社会教育功労者表彰  
久木崎親文(日吉地域) ↓ 正 久木崎親文(吹上地域)



かつらぎ しずこ

桂木 誌寿子さん〔52歳〕

東市来町美山(美山上自治会)

●桂木陶芸桃伯窯

平成11年 東市来町商工会女性部長

### 人との交流を大切に、活気あふれる楽しい地域に

桂木陶芸桃伯窯の桂木さん。平成十一年からは東市来町商工会女性部長を務めています。毎年十一月に行われる「美山窯元祭り」の手伝いや七月に行われるがんばろう湯之元会主催の「湯之元温泉とうろう祭り」と東市来町飲食店組合主催の「夏祭り」で商工会女性部のフリーマーケットを出店するなど、たくさんの人と関わって東市来地域のイベントを盛り上げています。「昔はもつといろいろな活動をしていました。私たちが若い頃には、元気のある人が集まって話し合いの場を設けたり、地域への貢献と商工会PRを兼ねて、青年部・女性部が力を合わせてJR湯之元駅の清掃と作業をしたり。今でも商工会関係者や地域住民と一緒に活動することがとても楽しいです」と笑顔で話します。

桂木陶芸桃伯窯では陶芸体験教室も行っており、市内はもちろん市外からも子どもからお年寄りまでたくさんの方が訪れます。「お店でもお客さんと接することが多く、毎日いろいろな人と話をするのが楽しいです。商工会でも各部長さんと交流する機会があり、様々な業種の方と話をすることで元気をもらっています」と桂木さん。東市来地域のイベント活動など、以前は今よりも活発に活動していたようで、「商工会や各関係者だけに限らず、誰でも参加でき、話し合える会を開ければ、地域がもっと盛り上がるのでは。これからもたくさんの人との交流を大切に、活気のある楽しい地域になればいいですね」

### 交流員のひろば⑧

デビッド マーチン シャー

David Martin Sher さん



【吹上地域ALT】

みなさん、こんにちは。デビッド・マーチン・シャーです。生まれはドイツですが、アメリカ人です。私のホームタウンはコーヒーショップがたくさんあり、マリナーズで有名なシアトルです。Go Mariners! イチロー選手は私もとても好きです。

鹿児島でALTをして4年目になります。奄美大島の犬島高校で2年間、鹿児島市の中央高校で1年間、そして今回幸運なことに吹上地域のALTになり、保育園、小学校、中学校で英語を教えています。吹上の子どもはとっても元気です。そしてみんなどんどん覚えていくのでびっくりしています。英語がほんの少しでも好きになってくれたらいいなと思いながら授業をしています。日置市のみなさんからとても親切にさせていただいて、心から感謝しています。みなさんとの交流を楽しみにしていますので、気軽に声をかけてください。





ギャラリー  
私の作品展  
『手作り木工』

徳永エリカさん(37歳) 伊集院町妙円寺

もともと手作りで物を作るのが好きで始めた木工。作った作品をフリーマーケットに出すようになり、今では手作り木工が好きな人が集まって活動するようになりました。木工は一枚の板からどんな形にすることもできるので、自分の思い通りの作品に仕上がった時が一番嬉しいです。

現在は主に自宅で、木工が好きなお母さん方と一緒に創作活動に取り組み、夏休みや冬休みになると子どもたちも一緒になって楽しく活動しています。これからは家具などの大きな作品作りにも挑戦したいですね。



ウォッチまちな文化財 23

浜田橋(吹上地域)

永吉川の下流にあり、国道270号線に並んで架けられている3連のアーチの見事な石橋です。河口の風景と巨大な石橋が重なり合い、美しい風景を作っています。浜田橋は長さが45m、幅が4.1m、高さが6.5mで、現在でも道路として使用されている橋としては、鹿児島県内一の長さとされています。

もともとは、2連のアーチの石橋が架かっていましたが、水害で流され、大正2(1913)年に現在の形に改修されました。石工は小山田、加世田、永吉の人達で、地元の人達の協力で近くにあった浜田石を切り出して橋を造ったと伝えられています。

かつては、下流側に架かる南薩鉄道の鉄橋(ポナール橋)とともに交通の大動脈として使用されました。しかし、車が盛んに使用されるようになると、幅が狭く車1台しか通れないため、昭和54(1979)年に上流側に新しい橋が造られました。現在は遊歩道として整備され、周辺には公園や物産館が造られ市民の憩いの場所になっています。

〈引用参考文献〉『吹上郷土誌 通史編3』吹上町教育委員会



▲浜田橋(下流から)

Access

車で、本庁から20分、吹上支所から10分



日吉中学校では、総合的な学習の時間「アイスカパー日吉」で、学校ぐるみで農業体験活動に取り組んでいます。その中でも



五年後にみんなで乾杯!マイ焼酎

日吉中学校三年

徳丸 たくまる

春菜さん はるな

力を入れているのが、「マイ焼酎」づくりです。三年生を中心に学校農園で栽培したカライモを使った卒業記念焼酎づくりは、地元の焼酎会社にご協力いただき、仕込みなどの作業に何度も参加し、自分だけの「マイ焼酎」をつくるもの。ラベルもオリジナルです。このマイ焼酎を五年後の成人式で飲み交わそうとみんなで取り組んでいます。

今年で四年目を迎えた「マイ焼酎」づくりは、生徒、PTA、地域の方々が力を合わせて一つのものをつくり上げる、夢のある企画だと思えます。今年はいよいよ私たちの番です。五年後に、みんなや日吉がどう変わっているかと思いをはせながら、「マイ焼酎」づくりに取り組んでいきたいと思っております。



## 鹿児島県日置市

### 市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,206人(△532)  
 男 24,304人(△316)  
 女 27,902人(△216)  
 世帯数 22,035 (△126)  
 4月1日現在( )は前月比

市の面積 253.05km<sup>2</sup>

### 今月の表紙



豊作祈願の田園劇を氏子らが熱演。今年の牛はととても威勢よく、砂をまきちらしながら、観客席まで飛び込んでいきました。

(たじまどん P11 関連記事)

### No.23 平成19年4月号

発行/日置市役所  
 総務企画部企画課

〒899-2592  
 日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111  
 FAX 099 (273) 3063

東市来支所  
 TEL 099 (274) 2111

日吉支所  
 TEL 099 (292) 2111

吹上支所  
 TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

日吉地域の西部、国道二七〇号線と県道伊集院・日吉線の間位置する日新自治会は、平成十九年四月現在で二百三十五世帯、五百八十四人が暮らしています。

少子高齢化が進んでいます。地域住民の融和を図るため、自治会一体となった活動に取り組み、住民が明るくいきいきと活動している地域です。

**七** 集落(下原、古の山、今別府、浜の丸、日新、並松、北原)で構成される日新自治会。住民が地域の行事に積極的に参加する明るい地域です。

**自** 治会には六つの部(総務部、生活部、研修部、保体部、高齢者部、青少年部)があり、それぞれ特色ある活動に取り組んでいます。生活部では、月一回「ふれあい給食会」を行っています。これは生活部が中心となって運営、約二十年前に一人



## わが地域

## 日新自治会(日吉地域) 住民のふれあいを大切に、住みよい地域づくりを



▲左から今別府利行会長、平野秀夫さん、船倉百合子さん



▲月1回行われる「ふれあい給食会」

暮らしの高齢者を対象とした食事会としてスタートしました。今では毎回約四十人の高齢者が参加し、講演や食事などを楽しむ、地域の学びの場、憩いの場となっています。今年度からは「いきいきサロン」を立ち上げ、生活部が運営を予定しています。

**毎** 年六月に行われるせつぺとべでは、地域伝統の鎌踊りを奉納。青少年部を中心に、地域の小・中学生が五月に練習を

**新** しくできた公民館。三月二十五日に落成式を行いました。室内の段差をなくし、手すりなども設置したバリアフリー設計で、高齢者も利用しやすい公民館になっています。落成式は、住民をはじめ、市関係者や建設業者などたくさんの人が参



▲立派な公民館が完成

**研** 修部では毎年研修会を開催。研修や視察をすることで、住民相互の学習に取り組んでいます。今年二月には川内原発とせんだい宇宙館を視察。住民約二十五人が参加し、有意義な研修をすることができました。

行います。踊り手の子どもたちが年々減少してきていますが、地域の伝統芸能を守るため、地域一体となって盛り上げています。



▲川内原発視察研修の様子

**自** 治会の今後の課題は、高齢者への対応・配慮など。「新しい公民館はバリアフリーで高齢者も利用しやすくなりましたが、足が痛くなり、床に座れない高齢者のための机や椅子も備えたいところ。また、これからは地区公民館との連携を図ることも重要になってきます。現在、自治会が運営している活動を継続していきけるよう、今後も取り組んでいきたいです」

加し、盛大に行われました。新公民館建設には、市からの補助金のほか、住民の積立金などが寄せられ、立派な公民館を建設することができました。